

## 「研修コーディネーターを活用した効果的なメンターチーム研修の在り方」

## 調査の概要

## ◆課題認識

- ・ 初任者等の個々の課題解決に向けた研修内容及び学校全体の人材育成に対する意識の醸成が不十分。

## ◆調査研究の目的

- ・ より効果的にメンターチームの組織を成熟させる方策を明らかにすること。

## ◆調査研究の方法

- ・ 調査研究協力校3～4校に対し加配による研修コーディネーター1名を配置し、学校間連携や情報共有等による効果的な研修の在り方について施行実施する。

## ◆調査研究校

- ・ 群馬県高崎市
- ・ 小学校10校、中学校3校

## ◆現状

- ・ 市内学校数  
小学校58校、中学校25校、特別支援学校1校
- ・ 初任者：60名（51校に在籍、平成29年度現在）
- ・ 初任での学級担任：54名（初任者の90%）
- ・ 研修の特色  
チーム支援を行っている学校：85%  
うち、メンターチームを導入：60%

## 取組のポイント・成果


## ◆取組のポイント

- ①学校間連携による取組
- ②メンターチームの成長を支える取組
- ③初任者等の課題に応じた研修
- ④人材育成意識の高揚を図る取組

## ◆成果

- ・ 合同研修会や近隣校の研修への参加、近隣校の授業参観交流など、学校間の連携を推進することにより、グループ内での有効な人材活用が進み、若手教員の授業力向上につなげることができた。
- ・ 年間計画を作成する際の視点や組織としての成長を支える視点を明らかにした取組や、チームリーダーを育成する取組により、メンターチームの成長を支える組織作りにつなげることができた。
- ・ ミニメンター研修や個別の指導などの研修コーディネーターを活用した柔軟な指導により、若手教員の困り感に即時に対応することや、複数年を見通した初任者の育成を行うことができた。
- ・ 中堅やベテラン教員の自己有用感の醸成を図る取組や研修コーディネーターの発信の工夫による情報の共有により、職場のコミュニケーションの促進や職員室での居場所づくり、育てる側の意識の高揚など、職場で育てようとする学校風土の醸成が図られ、学校全体の指導力の向上につなげることができた。

## ①ミニ研修「保護者との連携」

研修テーマ	保護者との連携・保護者対応	【所要時間：45分】
準備・講師	教育相談主任 スクールカウンセラー ※可能なメンバーが集まって実施するミニ研修会の形式	
研修の流れ	①リーダーが声を掛け、可能なメンバーが集まる。 ②保護者との対応で困っていることを話し合ったり、情報交換をしたりする。	
研修の様子	 <p>電話で、連絡帳で、学校に来て、うわさを聞いて…保護者の対応で、困ったこと、心配なことがありますか？</p> <p>【スクールカウンセラーのアドバイス】 保護者や地域、子どもからの異議・苦情は、あるものと考え、対応策を練っておく必要があります。家単位で相談します、必ず情報交換してください。</p> <p>子どもへの対応が難しいって電話がかってきてしまったのですが、説明に困って…</p>	
成果	少人数だったこともあり、具体的なことをじっくり相談できたので、その後の対応の準備にとても役に立ちました。また、スクールカウンセラーとの距離も縮まり、スクールカウンセラーの活用という視点が広がりました。	
メンバーの感想	 <p>保護者の対応が不慣れで、不安がありました。でも、こうやって話し合えるとその不安が和らぎました。</p> <p>スクールカウンセラーと話す機会がなかったのが、こまやかしている話せたことが良かったです。</p> <p>その後、保護者と関係がよくなるし、子どもたちの関係もよくなりました。</p>	

## 今後の課題

## ◆「メンターチーム研修の充実を目指したミドルリーダーの育成」の支援

- ・ 研修コーディネーターを活用したミドルリーダーの育成
- ・ 校外研修の活用によるチーム力の向上